

ましー

議会だより



No. 138

平成29年
9月定例会

9月定例会審議結果.....	2～4
一般質問.....	5～10
常任委員会活動.....	11
町民の声.....	12



前・土祭・た
な・ま

9月定例会 益子焼を使おう条例制定

祝！
第100回陶器市

平成29年第154回定例会は、9月5日から14日までの10日間の会期で開かれました。
平成28年度一般会計・特別会計の決算認定のほか、条例2件、補正予算6件、人事2件を審議し、原案どおり可決したほか、報告1件、請願・陳情審査報告も6件ありました。
町政に対する一般質問では、6名の議員が登壇しました。

平成28年度会計別決算

会計区分		歳入総額	歳出総額	差引残高
一般会計		93億1,165万円	88億 534万円	5億 631万円
特別会計	国民健康保険	32億5,950万円	32億 270万円	5,680万円
	後期高齢者医療	1億8,339万円	1億8,240万円	99万円
	介護保険	14億9,438万円	14億1,601万円	7,837万円
	内訳	保険事業	14億 598万円	7,837万円
		サービス事業	1,003万円	0万円
	公共下水道事業	5億6,428万円	5億5,809万円	619万円
	農業集落排水事業	1億 510万円	9,879万円	631万円
合計		149億1,830万円	142億6,333万円	6億5,497万円

【一般会計の主な目的別歳出】

〔民生費〕 28億8,510万円（保育所・認定こども園入所措置7億4,123万円、児童手当3億7,551万円、障害者自立支援給付4億7,260万円、医療費助成・給付1億3,733万円 他）
〔農林水産費〕 14億 336万円（道の駅整備事業8億2,931万円、芳賀台地負担金5,649万円 他）
〔教育費〕 9億 237万円（七井小学校プール改修工事1億3,218万円、町民会館改修工事3,371万円 他）
〔衛生費〕 7億1,235万円（芳賀地区広域行政事務組合負担金（ごみ処理、し尿処理）2億2,923万円 他）
〔土木費〕 4億4,512万円（道路橋梁維持補修工事6,984万円、道路橋梁新設改良工事1億1,440万円 他）

- ① 実質赤字比率
一般会計の実質赤字の割合
- ② 連結実質赤字比率
全ての会計を合わせた時の実質赤字の割合
- ③ 実質公債費比率
一般会計のうち借入金返済額等の割合の3か年平均値
- ④ 将来負担比率
一般会計で、将来負担すべき実質的負担の割合
- (1)(2)公営企業に係る会計ごとの資金不足の割合

1. 健全化判断比率

指標名	決算に係る比率	早期健全化基準
①実質赤字比率	—	14.92%
②連結実質赤字比率	—	19.92%
③実質公債費比率	6.7%	25.0%
④将来負担比率	53.0%	350.0%

2. 資金不足比率

公営企業会計名	決算に係る比率	経営健全化基準
(1)公共下水道事業特別会計	—	20.0%
(2)農業集落排水事業特別会計	—	20.0%

*「—」は黒字のため該当なしを表しています。

一般会計・全会計連結とも実質赤字は生じておらず、企業会計でも資金不足は生じていない。実質公債費比率は6.7%、将来負担比率は53.0%で早期健全化基準を下回っている。

【監査委員】 実質公債費比率が前年度より0.7%減となっているが、財源の確保とともに事業の選択についても精査し、町債の適正な活用を図られたい。

平成28年度一般会計・特別会計の歳入歳出決算について代表監査委員から決算審査報告があり、その後9月7日から14日にかけて本会議場で集中審議を行いました。

○平成28年度健全化判断比率及び資金不足比率
地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定により監査委員の意見をつけて次のとおり報告されました。

決算の認定

報告

平成29年9月定例会審議結果

前・土祭 夕焼けバーでも
たくさんの益子焼の食器を
使用しました！



○益子焼をとおう条例の制定
(全員賛成)
160年を超える長い歴史のある益子焼が、より多くの人に理解され受け継がれていくよう、普及と振興のための条例です。

○益子町職員の育児休業等に関する条例の一部改正
(全員賛成)
法律の改正にあわせ、いわゆる待機児童の場合も育児休業の対象とする改正です。

○益子町固定資産評価審査委員会委員の選任の同意
(全員賛成)
平成29年10月20日付けをもって任期満了する、益子町大字小泉 渡邊重雄氏の後任人事で引き続き同氏の選任に同意しました。

○益子町教育委員会委員の任命の同意
(全員賛成)
平成29年9月30日付けをもって任期が満了する、益子町大字北中 細野陽子氏の後任人事で引き続き同氏の任命に同意しました。

条例の制定

条例の改正

人事

◇決算審査報告書（抜粋）

審査にあたっては、決算書等関係資料をもとに、8月1日に現地調査を行い、8月2日から翌週8日まで延べ6日に亘り実施しました。
審査は、決算の計数が正確であるか、予算の執行は議決の趣旨にのっとり適正かつ効果的に施行されているか、関係諸帳簿及び証拠書類を照合して関係者の説明を聴取して

代表監査委員 大槻 征夫
監査委員 廣田茂十郎
審査を実施しました。
平成28年度歳入歳出決算については関係法令に基づいて作成されており、正確なものと認め、予算の執行、収入支出事務及び財産に関する事務についても概ね適正に処理されていました。また、基金の運用状況についても概ね適正に運営されていると認めました。



平成29年度補正予算

会計区分		補正前の額	9月補正額	合計
一般会計		77億7,801.4万円	1億8,121.6万円	79億5,923.0万円
特別会計	国民健康保険	33億6,100.0万円	368.9万円	33億6,468.9万円
	後期高齢者医療	1億8,300.0万円	174.7万円	1億8,474.7万円
	介護保険	15億7,366.6万円	7,840.5万円	16億5,207.1万円
	内訳	保険事業	7,840.5万円	16億4,740.5万円
		サービス事業	—	466.6万円
	公共下水道事業	5億5,200.0万円	103.3万円	5億5,303.3万円
	農業集落排水事業	9,600.0万円	572.6万円	1億 172.6万円
合計		135億4,368.0万円	2億7,181.6万円	138億1,549.6万円

【歳出補正予算の主な内容】

- ・道路用地取得移転補償（3,563万円）
- ・小中学校放送設備改修工事（434万円）
- ・益子焼をとおう条例関連経費（107万円）
- ・子育てワンストップサービスシステム導入関連経費（101万円）
- ・農地耕作条件改善事業（3,150万円）
- ・平成館意匠設計委託（324万円）

補正予算

補正予算の審議では、道路
(全員賛成)

用地取得移転補償や農地耕作条件改善事業など主要な補正額に対しての質疑を行いました。

請願・陳情

●県立高等学校入学選抜で再募集実施を求める意見書採択・提出にかかわる陳情

(平成29年陳情第2号)

◇審議結果【採択】

(全員賛成)

隣接する県と同様に栃木県でも再募集制度を導入し、定員を満たすべきと考える。意見書を追加審議し県教育委員会に提出した。



●「川の日を国民の祝日に定めること」を求める意見書に関する陳情

(平成29年陳情第4号)

◇陳情者 壬生町幸町

川の日を国民の祝日にしよう会

会長 桑原 史朗

◇趣旨 7月7日「川の日」制定趣旨を理解し、国民の祝日にする意見書を国に提出すること。

◇審議結果【採択】

(全員賛成)

町内においても川に関する取り組みを行う日としたい。意見書を追加審議し、国に提出した。

●町道認定に関する陳情

(平成28年陳情第4号)

◇審議結果【継続調査】

(全員賛成)

●道路拡幅整備に関する請願

(平成29年請願第1号)

◇請願者 益子町大字七井東町自治会長 石塚 茂

(紹介議員 岩崎 秀樹)

◇趣旨 町道18号七井大平線の東町内道路150mについて早急な拡幅工事をお願いしたい。

◇審議結果【継続審査】

(全員賛成)

総務産業常任委員会に付託

●「全国森林環境税の創設に
め継続審査となった。」

●「全国森林環境税の創設に
に関する意見書採択」に関する陳情

(平成29年陳情第5号)

●農業者戸別所得補償制度の復活をもとめる陳情

(平成29年陳情第3号)

◇陳情者 下野市下古山農民運動栃木県連合会

会長 高久 好一

◇趣旨 農業者戸別所得補償制度を復活させる意見書を国に提出すること。

◇審議結果【継続審査】

(全員賛成)

総務産業常任委員会に付託され、慎重審議のため閉会中の継続審査となった。

◇陳情者 新潟県村上市三之町
全国森林環境税創設促進議員連盟

会長 板垣 一徳

◇趣旨 「全国森林環境税」の早期導入を求めるため、意見書を国に提出すること。

◇審議結果【継続審査】

(全員賛成)

総務産業常任委員会に付託され、とちぎの元氣な森づくり県民税との問題もあるため継続審査となった。

一般質問

6名の議員が登場！

黒子 秀夫 議員 5ページ

- 1 町長の政治姿勢について

星野 壽男 議員 6ページ

- 1 人口減少対策について
- 2 今秋の陶器市について
- 3 益子焼をしよう条例について
- 4 健康づくりについて

磯部 浩 議員 7ページ

- 1 議会調整会議について
- 2 防災対策について
- 3 高齢者対策（総合事業）について

長岡 景介 議員 8ページ

- 1 道の駅の経営について
- 2 小中学校の教員の残業状況と対応策について
- 3 教育委員会の現状について

直井 睦 議員 9ページ

- 1 土祭（ヒジサイ）について
- 2 地域防災力の向上について
- 3 障がい者就労施設の支援について

岩崎 秀樹 議員 10ページ

- 1 新ましこ未来計画について

町ホームページで会議録の閲覧もできます

大塚町政3期12年の総括について

黒子

大塚町長におきましては、益子町政を担い3期12年の在任期間の節目を間近に迎えるようとしています。これまでの町政に対する考えと実績を踏まえ、行政運営を総括し、どのような自己評価をお持ちなのか伺います。

町長

1期ごとに計画をつくり、それに基づいて行政運営を実施してまいりましたので、各期ごとに述べさせていただきます。

1期目は、全国的に平成の大合併の動きの直後でありました。本町は、合併をせず単独で行政運営を行うこととなり、資金繰りも非常に厳しく、当面の間、新規事業を実施す

ることができない状況でした。

そのような状況の中、まして再生計画を策定し、協働の精神の中、財政を好転させながら、七井第1地区区画整理をはじめ、土祭、花のまちづくり、道普請事業、プレミアム商品券発行など、さまざまな事業を創設することができました。

2期目は、東日本大震災、翌年の竜巻被害など3年続けた災害対策本部を設置し、自然災害の対応に追われた任期でしたが、まして未来計画、災害復興のための行動計画のもと、益子小学校の建設をはじめ、益子西部地区土地改良や医療費助成を中学3年生ま

で拡大させるなどのほか、イギリス・セントアイヴスとの友好都市締結やまちづくり基本条例も制定することができ、復興、そして未来に向け動き回った4年間でした。

3期目の今期は、新ましか未来計画の制定、そして、地場産業づくりのエンジンとして「道の駅ましこ」をオープンさせ、順調に運営しております。

私の自己評価については、評価は町民の皆様にしていただくものと考えますが、最低限の責任を果たすことができましたのではと感じております。

黒子

大塚町長は、これまで豊かな実を育てるため、土壌を整え、種をまき、懸命に育て、すでに幾つか素晴らしい実を実らせております。残された任期、最善を尽くして職務を全うされ、来年4月に執行される次期町長選において、前向きに検討されることを望みますが、現在の心境をお聞かせください。

町長

出処進退は、最終的には自分で決めることですが、第一に相談すべき私自身の後援会会長が先日ご逝去

されましたので、支援者の皆様に諮らせていただき、後日誠実に回答をさせていただきますと考えております。



「新ましこ未来計画」安全・安心体制の強化について

黒子

新ましこ未来計画が制定され、1年半が経過しましたが所見を伺います。

町長

計画1年目から順調に着手できています。事業もあれば、情報収集に時間を要し、戸惑った取り組み等もあります。各年度の達成状況を分析し、計画期間である平成

黒子

計画の中にある、地域の安全・安心体制の強化については、問題が発生する前に、すぐにでも取り組む事業であり、防犯カメラの設置については、幾度も要望しているのでぜひ実現していただきたい。防犯灯についても行政が主体となり設置する方向性となることを望んでいます。

弾道ミサイル発射による

町行政の対応について

黒子

8月29日早朝、北朝鮮の弾道ミサイル発射にともない、Jアラートが発令されましたが、どのように対応されたのか伺います。

総務課長

本町において初めてJアラートが発令されましたので、益子町国民保護計画に基づき、担当職員が参集し、情報収集に努め、対応いたしました。





星野 壽男 議員

人口減少の流れを止めるために

星野

新ましこ未来計画の中に「住みたい・住み続けたい環境の充実」があり、具体的行動として幾つか掲げてありますがその成果もしくは進捗状況について伺います。

町長

道の駅ましこに移住コンシェルジュとして専任職員を2名配置し、移住に関する相談を行った結果100件を超える相談がありました。

空き家バンク制度については4件の登録があり1件が成約しました。住宅取得に対する奨励金制度も順調に伸びています。更なる条件整備を行い移住定住に繋げて参ります。

星野

今西部地区では下水道工事が行われています。

下水道工事が完備されれば住宅地には最適になります。益子町には耕作放棄地帯や平らな山林がまだまだあります。

県でもUIJターン応援団登録制度が始まりました。それと連携して町主導で開発業者と協力して格安の分譲地の開発をしてはどうか、地主さんとも相談すれば協力してくれるのではないのでしょうか伺います。

総務部長

現在空き家バンク制度に登録している業者は7事業所あります。それと合わせて住宅地のほうの斡旋等も町から業者に働きかけて参りたいと思います。

星野

少子化対策として県では28年度より18歳未満の兄弟から数えて第3子以降の子供の保育料の無償化が実現しました。これにちなんでほかの市町に先駆けもう一步踏み込んで、子育てをするなら益子町、子沢山を応援する益子町をアピールする為に全面的に保育料を無償化にしてはどうか伺います。

町長

現在町ではファミリーサポートセンターの設置など子育て世代を支援する事業のほか、結婚、出産に向けての事業、他市町に先駆け子育て応援手当制度、結婚新生活支援補助金制度を設けております。

さらに新たな対策として子ども子育て支援拠点施設の開設を進めています。保育料免除の拡大につきましては提案とさせていただきます。今後様々な形で取り組んで参りたいと思います。

百回陶器市について

星野

今秋の陶器市は百回となる記念すべき陶器市ですが、どの様な取り組みを

考えているのか伺います。

町長

観光協会、陶器市実行委員会において益子町出身のタレントの井上咲楽さんに参加してもらうことになっている様です。また、陶器市ラジオの開設、各テナントとのイベントの実施などを検討していることで、町としても協力体制を整え支援協力をしていきたいと考えています。

星野

陶器市の期間中だけ益子塾という来場者のためにチラシ配りや会場の案内などを行っているボランティア団体があります。

産業建設部長

その中で休日だけ益子芳星高校の生徒達が毎回益子塾の方達と一緒にボランティアクิจกรรมを手伝ってくれています。頑張っている生徒達に町から産業功労者の中で表彰をしてはどうか伺います。益子芳星高校の生徒達の皆さんにはいろんなところでボランティアクิจกรรมとして町の事業、各種イベント等に協力していただいています。町の表彰等の規定に基づいて該当するようであれば推薦させていただきます。

マシコット体操で健康に

星野

益子町では健康づくりとしていろいろな対策を行っています。新ましこ未来計画の中でも新たに「町民に親しみやすいマシコット体操を考案し体操の習慣化をめざす」とあります。マシコットと一緒に体操をするのは楽しい事だと思います。特に子供達には喜んでもらえると思います。

しかし、現在のマシコットでは体操を行うのは無理があると思います。マシコット体操を始めるこの機会に自由に動き回れるマシコットをもう一体追加してはどうか伺います。

町長

今のマシコットに合わせ体操を作るのは大変だと思います。担当者のほうから体操にふさわしいマシコットを作つてはという意見が出るかもしれません。その時は柔軟に対応して参りたいと思います。

※ほかに益子焼を使う条例についての内容の説明と制定された後町民の皆さんにどの様に知らしめるのか伺いました。

議会の一般質問の執行をどうしているか

議会調整会議は何をするか

磯部

議会の質問に対しての行政の反応が極めて鈍いと感じる。議会終了後に行われる議会調整会議の構成職員と審議はどのように行い、最近活発に審議された事件はなにか。

町長

町三役と部課長全員で構成して。議会定例会議で確約した事項について、今後の対応、方針等を協議し共有を図っている。最近確約した事項はない。質問のグラウンドゴルフ専用会場の今年度中の整備の指示は出した。

磯部

会議の傍聴や議事録等の公開は可能か。

総務部長

役場の内部の会議で明確な規則は定まっていないが、傍聴を考えての会議ではない。議事録はあり配布できると思う。

磯部

何度も質問している広島市の平和記念式典に中学生を派遣する事に関して、この会議で執行部の皆さんはどのような関心を持たれ、検討又は審議されるのか。

総務部長

派遣するということ確約はしていませんので、会議の中では検討していません。教育長はこの会議で、益子も派遣を実施したいと町長に進言すべきと思いますが、長としてどのような発言をされているか。

磯部

益子も派遣を実施したいと町長に進言すべきと思いますが、長としてどのような発言をされているか。

教育長

11市町の取り組みを私たちも踏まえながら、今後そういう論議も上がってくるかも知れませんが、一応町長には話をしている。(千八四字に及ぶ回答全文は議会報告書三号に掲載)

東海第二原発再稼働の危機

磯部

原発事故に対する防災対策と50キロ圏内にある東海第二原発をどのような危機的位置付をされているか。放射能の防災物資備蓄等の状況はどうか。

町長

町が策定している地域防災計画に原子力災害対策編として記載し、関係課において県が実施している原子力災害講習会等に参加し、原子力の知識スクリーニング方法や避難所の設置方法などを学んでいる。

磯部

東海第二原発の位置づけは直線距離で46キロですので注意すべき施設と位置づけをしている。ヨウ素剤は国が準備する事になっているので県と同様に町の備蓄は現在ない。国、県の規定だけ守っているだけでは非常に

心もとない。それでは原発の寿命、東海第二原発の現状についてはどのように把握認識されているか。

民生部長

現在運転は休止していると聞いている。

磯部

原発の寿命は40年と決められているが、抜けど道があり、延長の申請をして審査に合格すると1回だけ20年も延長することが出来る。

東海第二原発は東日本大震災の時、間一発でメルトダウンは逃れたが以来冷温停止状態が続いている。来年11月28日で40年になり当然廃炉にすべきです。8月27日に行われた茨城知事選でも重大な争点になりましたが、仮に再稼働された場合の対応をお聞かせ下さい。

町長

一番に町民の皆さんの命を守ることが最重要課題であり、当然万が一の時にどのような危機管理をしていくか、しっかりと対策を、今以上の計画をつくっていく必要があると考える。

磯部

それでも全ての町民を安全に避難させ、現在の生活を保障する事は出来ない。最も安全で防災費用も掛

からないことは、東海第二原発の40年を超える再稼働をさせないことです。再稼働に反対する意見書を町として提出すべきと思うが。

町長

ご提案をしつかりと受け止め、確かに町民の生命第一という観点から責任ある行動を取って参りたいと考えております。

総合事業へ移行後の問題点

磯部

町の利用者の実態はどう変わったかサービス低下を招いていないか。

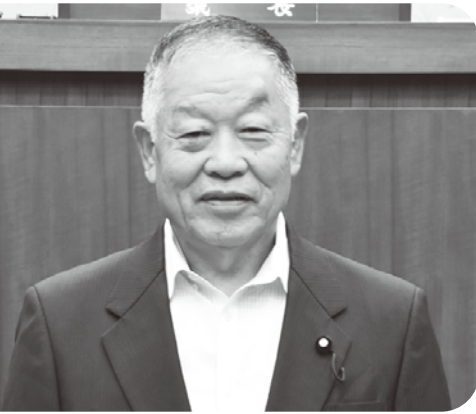
町長

町で実施している事業が従来の介護予防訪問介護と介護予防通所介護と同等なので、利用者の混乱や苦情等の報告は現時点ではありません。

住民への周知はパンフレットの設置や相談に対応するほか、介護支援専門員から総合事業について説明を行い、今後も制度を正しく理解して頂けるよう進めます。

磯部

県内の17市町が制度が変わり、運営に苦慮している実態がある。本町の良き運営の継続を要望する。



議員 浩 磯部



長岡 景介 議員

道の駅の経営は大丈夫か？

長岡

初の決算を終えた道の駅ましこですが、株主総会ではどのような良い報告・悪い報告がなされ、株主である益子町は現状をどう捉え、どのように発言されたのか伺います。

町長

売上げ目標・営業利益・来場者数も当初予測を大きく上まわり、売上高経常利益率（ROE）も開業初年度としては上々であるという株主の見方です。

長岡

株主総会では予算と実績の大きな出費の差異に対して質問はなかったようですが、次の期の目標を立てる際に、経常的な支出と臨時的な支出の仕分けが必要であ

り、また、大きな支出はその妥当性の検証も大切と思うので、そういった質問の有無をお聞きしているのです。

町長

町は出資者としての立場で、経営は益子カンパニーが行っているので、役割分担が大切と思っています。株主が経営に口を出しすぎるのは良くないので、利益や売上げや動員数などが目標に対してどうかなどを管理しています。経営に関しての反省点や改善事項は、カンパニーの方で定期的に会議を開き、アンケートも活かして、顧客満足度を高めてもらっています。町としては良い数字を出したら褒めて、ダメなときは

改善を求めるという立場です。売り上げの無い月からの雇用を抱えても労働分配率が低くて良いとか、ROEも高くても良い所を見て頂いて、良い時は議員も是非褒めてあげていただきたい。

長岡

町の出資はつまり町民一人一人が出資者という事で、議員はその代表としてしっかりと本質を見る必要があると思っています。現場で頑張ってくれているスタッフたちが安心して長く働ける将来の状況を作るのも経営者の責任であり、株主の望みです。そのためには良い所だけではなく、問題点・指摘事項や数字の中身を株主側・経営側が共有して、協力することが必要です。その意味で先ほどのROEも本当に良いのか私は自分の中で腑に落としたい。そのための資料は開示して頂けるという事なので、たとえば総勘定元帳を見せて頂けるようお願いします。

産業建設部 長岡

先ほど町長のほうから内容について開示するというようなお話もありましたので、その点考慮いたしまして、カンパニーの方から取

り寄せるような形にしたいと思っています。

教員の残業時間は多すぎないか？

長岡

全国的に残業が多いとされる教員の勤務体制は、益子町ではどうか？対策はあるのか伺います。

教育長

各学校平均2時間から3時間の残業になつていて、改めて調査を行っているが、改めて調査を行っていないが県の調査同様、中学校では部活動指導、小学校では授業をしない空き時間が少ないなどの問題点があると思います。県のプロジェクトを活用した加配を積極的にやり、町教育委員会としては指導助手などの増員配置、学校事務共同実施による事務軽減や外部指導者活用・校務の標準化などを行っています。

長岡

出退勤の時間把握はどのようにされているのか？

教育長

学校では教頭職が大体の時間を把握していますが、感情労働・献身的労働という教職の性質上個人差が出てしまう。少なくとも1日4時間以上の残業にならない

様お願いしています。

新体制の教育委員会はどうか？

長岡

新体制の教育委員会になつてもうすぐ1年ですが、利点と課題を伺います。利点は積極的な発言や意見交換がなされていること。また総合教育会議で町長に意見をしたり考えを聞いたりする機会が得られたこと。教育行政の責任者が明確になったので即時の対応が可能になったことなどです。課題は委員同士の報告連絡相談の向上、資質の向上、現場とのコミュニケーション向上などがあげられます。

教育長

平成29年度『わが町の教育』における重点は？

教育長

学力・体力の向上、不登校・いじめ等の未然防止が重点です。

長岡

様々な調査やプログラムを活かしてそれぞれ積極的に進めてほしい。新しい教育委員会制度を活かして、良かれと思う事には周りを気にせずに迅速に取り組んでほしい。

「土祭」を益子町のレガシーに

直井

今回の開催より住民主導による実施形態に移行することですが、実行委員組織体制は、どのようになるのでしょうか。

町長

住民主導による土祭運営にするため、本年度から田野、益子、七井の3地区から選出した実行委員を新たに加え、3地区の実行委員が中心となり、各地区の特色を生かした魅力的な内容を企画運営する地区委員も組織いたしました。

直井

土祭の「将来的な展望」を行政は、どのように考えているのでしょうか。

町長

土祭は、その時だけ楽しめばいいというもの

ではありません。未来へつなげるため、土祭実施後もそれぞれの地域に人の流れをつくる仕組みを構築すること。そして、未来づくりの主人公は地域に暮らす住民の皆様でありますので、第4回実施に向けて、住民主導の土祭にシフトできるような心掛けていく所存です。

直井

東京オリンピック・パラリンピックの開催を控え、政府、オリンピック組織委員会は、beyond 2020文化プログラムや文化オリンピアドなど、地域の文化芸術活動の認証をすでに全国展開しています。土祭のクオリティーは、認



地域防災力の向上を図るために

直井

本町における自主防災組織について、現状を鑑み、行政として今後どのように取り組んでいくのでしょうか。

うか。

町長

自主防災組織の現状は、町内全71自治会のうち20自治会で組織化されていない現状であり、組織化率の低い七井地区を中心に推進し、全ての自治会で組織化するよう努めてまいります。

直井

自主防災組織について、すでに組織化されている団体の継続性、活動内容の充実が重要です。各地域に寄り添った防災マニュアル策定を推進するためにも、防災アセスメント調査の実施を視野に入れ、取り組んでいただきたい。

また、隣接する自治会相互の支援協力体制への取り組み、民間事業所との連携協定の幅を更に広げ、資機材の提供等、災害時に即効性のある支援体制の充実も図っていただきたい。

障がい者就労に更なる支援を

直井

障がいのある方が仕事を通じて多くの人と関わり合い、社会参加の機会を持つことが自立へとつながります。しかし、働く意欲があ

りながらも、能力や可能性を発揮できず、働く機会に恵まれない障がい者がたくさんいます。

平成25年4月より施行されている障害者優先調達推進法により、国や地方公共団体は、障がい者の関わる製品やサービスを優先的に購入するよう定められています。本町においても益子町障害者優先調達推進方針が策定され実施されていますが、今までのよう

町長

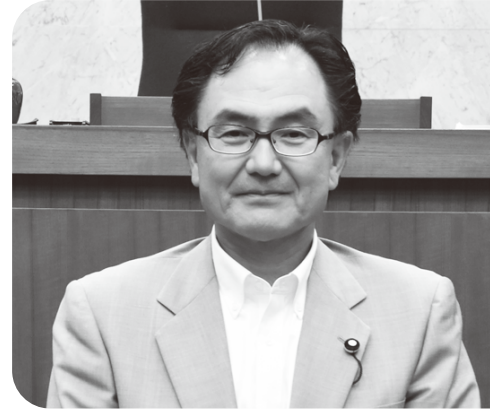
本町における障がい者就労施設への発注実績は、平成27年度5万3,700円、平成28年度16万1,356円となっております。受注機会確保のため、庁舎内で取り組みの周知を行ってまいりました。

直井

今年度の推進方針では、調達目標額が7万円となっており、前年度の実績額より低く設定されております。行政と障がい者就労施設が意見交換の行える場を設けて、調達額の増額をはじめ、更なる支援体制が整いますよう望みます。



直井 睦 議員



岩崎 秀樹 議員

新ましこ未来計画について

岩崎

平成28年度決算を踏まえ、新ましこ未来計画の総括についてお尋ねします。

町長

計画総額5億4,736万円に対し決算総額4億5,819万円で、執行率87・31%。産業の分野で執行率51・20%、資産形成の分野で執行率80・26%であった。

産業の分野では機構集積協力金事業が思うように進まなかったこと、資産形成分野では道路改良に伴う用地買収が思うように進まなかった事等が要因であるが、今年度実施していくので、執行率は約95%となるので、概ね順調に執行できたと考えている。

岩崎

観光客入込数、213万7千人、観光宿泊者数3

て頂く施策は。

例えば、今回のひまわり祭りの様なイベント開催、道の駅に寄ったり、町の中を回って頂いたりして、お客様の滞在時間を増やし、消費を促す様にしている。

町長

観光客数の増加は、いろんな物の積み重ねかなっている。花の町づくり等は10年前から、土祭は2009年から、陶器市は50年、少しずつ積み重ねて来た。

岩崎

益子焼の販売額が目標値に届いていないのは非常に残念な事だが、この辺の分析は。

バブル期には単価が高くて商売ができたが、今は厳しい状況。百円ショップとかで、食器を販売しているのも要因と伺っている。

岩崎

益子焼を使う条例の制定は100回益子陶器市が間近で非常に意義のある事だが、同時に益子焼を使ったライフスタイルの提案とか、益子焼を使った文化の創造とかが必要だと思うが、その辺の考えは。

産業建設部長

生活スタイルの変化に合わせ、新商品の開発、食器や、陶器を通したライフ

スタイルの提案が必要。「ミチカケ」とかで良さを知ってもらふことだと考えている。

岩崎

益子焼を食器として購入した、飲食店や宿泊施設への補助金の考えは。

産業建設部長

今はPRとかを考えているが、今後飲食店で使ってもらふ仕組み作りを考えて行きたい。

岩崎

観光振興条例を制定している自治体は概ね観光客が増えているというレポートがあるが、制定のお考えは。

産業建設部長

観光戦略会議の中で、議論されていくと思う。民泊の環境づくりの支援はどの様になっているのか。

岩崎

今のところ具現化されていない。住宅宿泊業法の施行後、検討したい。

岩崎

イベント民泊制度への取組みは。具体的な取り組みは伺っていないので、いろいろ研究して行きたい。

岩崎

空き家バンク、空き家の利用状況は。賃貸の登録が4件、内1件が成約し、子育て世帯4名が移住された。自治会の皆様の調査により185件が

町長

報告され、内3件は登録の意思表示をしてくれた。引き続き広報益子等で周知して行く。空き家対策特別措置法該当の建物は何件か。今回の調査では判断していない。

岩崎

今後予想される該当物件への対処の準備は。国の法律も含めて確認と研究をしている。

岩崎

「町全体がホテル」のタイトルで、古い建物や空き家や空き店舗等をリノベーションして町をホテルに見立てた宿泊施設があり、地域の商店街の活性化にも繋がっている記事を見た。町の中心市街地活性化にも繋がる案件の様な気がするが、どの様にお考えか。

岩崎

益子でも取り入れられる所は取入れて、さらに研究して町の活性化に繋がって行きたい。

岩崎

最後に時代の変化のスピードは加速度的に上昇している。PDCAサイクルによる新ましこ未来計画の精査は基より、現実と乖離している計画等は取捨選択し、幸せな共同体益子の構築への邁進を要望します。

産業建設部長

岩崎

岩崎

岩崎

議会定例会の閉会中の継続調査についてたくさん審議しました！ ～7月・8月・9月実施分～

教育厚生
常任委員会

- 子ども子育て支援
- スポーツ振興の取り組み
- 生ごみの減量化
- いきいきクラブの課題と方向性
- 日本遺産の再申請

7項目

ほか2項目

●子ども子育て支援

町内に予定している子ども子育て支援拠点施設建設にあたり毎月審議している。耐震については、新建築基準法に基づいていることが確認でき安心した。

【改善意見】
施設内において、衛生面が課題であると思われるので再検討を要望した。
子どもたちが集うところなので、防犯対策について考慮されたい。

●スポーツ振興の取り組み

【改善意見】
スポーツで結果を残すことは、良い指導者に巡り合えるかがポイント。今後も指導者育成に尽力されたし。
施設の整備と備品の充実を図られたい。

●生ごみの減量化

【改善意見】
生ごみを区分けする目的や自己処理のPRをし、補助制度についても再度周知に努めること。

●いきいきクラブの

課題と方向性

【改善意見】
自治会において入会促進を図るよう補佐するとともに、リーダーの養成にも努める。

●日本遺産の再申請

【審議結果】
前回の反省点は説明文の趣旨がはっきりせずインパクトがない。民藝運動を中心とした地域のストーリーが表現できなかった。再申請はストー



リーを重視し、写真を活用しインパクトを出す。土祭等の際に日本遺産の認知度を上げていく。

総務産業
常任委員会

- 畑総整備事業の戦略的作物
- 耕作放棄地と農地集積
- 町道維持管理の優先順位の基準
- 地域通貨の流通
- 通学路の整備状況

12項目

ほか7項目

●畑総整備事業の戦略的作物

【改善意見】
アスパラガスは収穫までのタイム・ラグが長いため奨励が難しい。今後、耕作者の要望等を精査の上有効な作付け品目の検討を要望した。

●耕作放棄地と農地集積

【改善意見】
農地中間機構集積協力金・農地バンク利用のメリットを周知すると共に、里山事業に関連づけた取り組みの検討を要望した。

●町道維持管理の優先順位の基準

【改善意見】
町道以外の公道に關しても安全で良好な環境を確保することも重要であり、道普請は住民参加型の良いシステムと認識しているが、現場によっては危険が生じる可能性もあり、高齢化も問題となつてい

今後、住民がより参画しやすい道普請事業に議会と共に検討していくことを要望した。

●地域通貨の流通

【改善意見】
流通回数を増やすよう地域活性化の趣旨をPRし、商店街の改善を図ること。
通貨たる理由の「何にでも交換できる」という流動性が重要。役場で扱うすべてに地域通貨が使用できるよう検討を要望した。

●通学路の整備状況

【改善意見】
夏場草が生い茂り、車道にはみ出して通行せずに済むよ



う適正に整備されたい。
県道も多く、県と関係自治会との調整・推進を要望した。

町民の声

各家庭でも防災に関心を



小野 奈美子 さん

夫と娘と父との4人家族です。
仕事とプライベート、どちら
も頑張っています！

ともに優勝を果たしました。
感動をくれた先生、子供達に
感謝でいっぱいです。また、
町内においても益子三校で4
ペアの県大会出場という好成
績でした。

地域活動では親子で地元の
お囃子会にも参加させて頂い
てます。私が子供の頃は保護
者だけのお囃子会でしたが今
は誰もが入れ、親睦の場とし
ても楽しく活動しています。
興味のある方は是非ご参加下
さい。

道の駅ましこはオープンし
て丸一年がたち、毎日たくさ
んの人で賑わっています。道
の駅の盛り上がりのように、
魅力のあるまちづくり地域づ
くり協力していきたいと思
っています。

初めての試みである「議
会報告会及び意見交換会」
を、10月10日あぐり館、10
月15日改善センター、10月
18日中央公民館で開催しま
した。延べ66人の方にご参
加いただき、次のようなご
意見がありました。

皆さんからの意見は、議
員全員で協議して提言に繋
げていければと思います。
これから毎年議会報告会
・意見交換会を行いますの
で、ぜひ会場にお越しくだ
さい。あなたの声をお待ち
しています。

広報広聴 常任委員会

議会報告会
ありがとうございました！

会場設営から会の
進行まで議員のみ
で運営しました。



あなたも議会を 傍聴しませんか

次回12月5日(火)10時開会

本会議当日、3F議会事務局で
傍聴券を交付します。予約不要。

★防災に関心を
私は現在消防防災の会社に
勤めています。その中で私は、

益子町で生まれ育ち、学生
の時に3年間離れましたが就
職を機に戻ってきました。一
度実家を離れると実家や生ま
れ育った場所の良さを再認識
すると思います。実際私は、
益子焼に興味を持ち始めまし
た。家にいるころは益子焼の
食器が地味に思っていた。少
し大人になったからなのか
素敵な益子焼が増えたからな
のか今では大好きです。素敵
な食器、おしゃれなカフェ、
そして自然、どんどん素敵な
町に变身していくのをリアル
タイムで感じています。

★娘を通して

今、娘は中学校でテニス部
に所属しています。上級生が
いない部への入部でしたが、
顧問の先生の御指導、部員一
人一人のやる気が相まって今
年の郡の新人戦で団体・個人



- 一般質問で出ていた図書館建設はその後ど
うなったか。
- 平成館は将来どういうふうに運営するのか。
負担は掛からないのか。
- イノシシ等の獣害対策は今後どうするのか。
- 婚活事業の充実で人口増を図ってもらいた
い。
- 観光施設の看板がなかったり見づらいとい
ころがあるので、設置補修をしてほしい。
など、多数のご意見をいただきました。

